

令和7年(2025年)8月15日 (金曜日)

GW三島「心を元気にするショートツアー」第1弾
家族40人 川遊びやバイカモ観察

「三島梅花藻の里」で水中花ミシマバイカモを見学するツアー参加者＝三島市内(提供写真)

能登地震の被災者招待

維持・管理する「三島梅花藻の里」でミシマバイカモの観察などを楽しんだ。三島商工会議所さんしみゅうく

んホールでは地元高校生と交流し、帰路に就いた。
GW三島の渡辺豊博専務は「三島の良い環境で参加者に元気を贈ることができて良かった」と話した。
ツアーは本年度3回実施予定。

三島市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島は10～12日、能登半島地震で被災した子どもと家族を招待する「心を元気にするショートツアー」を実施した。参加者約40人が富士山や三島市の湧

水などを楽しみ、心身をリフレッシュした。昨年4回にわたり開催し、延べ161人が参加した取り組みで、本年度1回目。石川県の珠洲市、かほく市、能登町から参加者が集まった。

3日間のツアーでさまざまな自然体験を予定していたが、初日、2日目はあいにくの天気の一部イベントは変更となった。最終日は天気に恵まれ、三島市が誇る源兵衛川で川遊びや散策、GW三島が